

【教育目標】

【知】自ら学び、考え、進んで行動する人

【徳】互いを尊重し、協力する人

【体】心身ともにたくましく健康な人

杉並区立中瀬中学校

下井草4-3-29 TEL 3399-2196

放蕩息子のたとえ話

校長 香西雅斗

科学と自然の散歩みちでは、落ち葉のグラデーションが目を楽しませる季節になりました。目立たないのですが、ビワの木のつぼみが膨らみはじめました。景色にみやびを感じる一方、12月1日から放映された「パラレル東京～体感 首都直下地震ウィーク～」での被災映像を重ね合わせると慄然（りつぜん）とさせられます。地震は避けられません。だからこそ災害を最小限にするための備えと努力を惜しんではならない、と強く思います。

さて表題の「放蕩（ほうとう）息子のたとえ話」は、ルカの福音書（キリスト教の聖典の一つ）の中の有名なたとえ話です。

〈あらすじ〉 二人兄弟の弟は、父に財産の分け前を要求し、それを持って遠い国に行き、ぜいたくな生活を続け、財産を使い果たした。そして、動物のえさでも食べたいと思うくらい、飢えに苦しんだ。

父のところには食物があり余っているのに、自分は飢えて死のうとしている。弟は父に「私は息子と呼ばれる資格はありません。雇い人の一人にしてください。」と言おうと決心し、家に向かった。ところが、父は帰ってきた弟を見ると、走りよってだきよせ、良い服を着せ、盛大に祝宴を開いた。

それを見た兄は、父に「私は何年もあなたのもとで真面目に働いてきましたが、私のためには一度も祝宴を開いてくれなかった。」と抗議した。

このたとえ話を紹介したのは『学校での事前準備（校外学習や宿泊行事など）に参加せずに、当日参加するのはいかななものか』という以前からある感覚（教員に限らず）について考えてみたいからです。

この感覚の元には「大変な準備をせずに、当日だけ来るのは不平等」という論理や「学校に来ないで楽（らく）をしているのはずるい」という思いがあるのではないのでしょうか。

なぜなら、怪我などで入院し準備ができなかった場合は「大変だったね、参加できて良かったね。」となるからです。この話には続きがあります。

しかし、父は兄をたしなめて「子よ、お前はいつもわたしと一緒にいる。わたしのものは全部お前のものだ。だが、お前のあの弟は、いなくなっていたのに見つかったのだ。祝宴を開いて楽しみ喜ぶのは当たり前ではないか。」と言った。

大人が「学校は苦しいことを（将来のために？）我慢して頑張る所だ」と思っているなら、子どもたちも、それに参加していない人に対し「…不平等」や「…ずるい」と思ってしまうのは当然です。でも学校は、本当にそういうところなのでしょうか？

「お前はいつもわたしと一緒にいる。」のように、大人が「学校で学び生活すること～例えば、行事だけでなくその準備～も楽しく価値が高い」と思っているならば、子供たちも「参加できて良かったね。準備できてなくて不安かもしれないけど、なんでも聞いて。大丈夫だよ。」と接するようになります。

学校は宴（うたげ）ばかりではありません。でも「学校に来ないのは楽」ではなく「学校で苦楽、そして喜びや悲しみを共にすることで成長する」そんな中瀬中でありたいと思います。

学校関係者(生徒・教員・保護者)評価結果

令和元年12月13日
杉並区立中瀬中学校

項目		A そう思う (100点)	B ややそう 思う(75点)	C どちらでも ない(50点)	D あまり思わ ない(25点)	E 思わない (0点)	A (人)	B (人)	C (人)	D (人)	E (人)	分 か ら な い 人 数	R1の 結果 /100 点	H30 の結 果 /100 点						
		回答数:生徒348、保護者317																		
		0	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100%								
1	生徒は、学校生活に満足している。	生徒											211	117	51	4	3	0	84.3	79.7
		教員											4	21	2	0	0	0	76.9	68.8
		保護者											158	138	33	15	4	1	81.0	80.6
2	生徒は、熱心に授業に取り組んでいる。	生徒											118	184	66	13	4	1	75.9	71.0
		教員											2	20	5	0	0	0	72.2	78.1
		保護者											102	140	81	19	7	0	72.3	72.8
3	生徒は、授業を受けることで、分かることやできることが増えている。	生徒											203	129	39	7	4	4	84.0	80.1
		教員											2	9	14	1	1	0	59.3	62.0
		保護者											103	166	57	19	3	1	74.9	73.7
4	先生は授業で、得意なところを伸ばしたり、苦手なところを少なくしたりできるように、個別に教えてくれている。	生徒											60	112	134	52	27	1	58.2	54.3
		教員											3	11	10	2	1	0	62.0	58.3
5	先生は、授業で自分ができたことを誉めたり、間違えたところを教えてくれたりしている。 (保護者:学校は、子どもの学習状況を適正に評価している。)	生徒											95	155	87	39	9	1	68.7	64.5
		教員											5	16	5	0	1	0	72.2	72.8
		保護者											57	120	120	30	5	17	64.6	64.4
6	先生は、今の授業で学習していることが、前の授業や今後の授業とどのようにつながっているか、教えてくれている。	生徒											102	169	80	25	10	0	71.2	68.3
		教員											6	10	7	2	2	0	64.8	71.7
7	先生は、授業において電子黒板やデジタル教科書を活用している。	生徒											223	122	31	7	3	0	85.9	89.4
		教員											6	13	6	2	0	0	71.3	71.9
		保護者											76	120	98	12	8	35	69.4	72.1
8	生徒は、積極的に学校行事に取り組んでいる。	生徒											163	127	64	20	11	1	76.7	73.8
		教員											14	12	1	0	0	0	87.0	88.5
		保護者											175	124	40	6	3	1	83.2	84.4
9	生徒は、学級の班や係活動、行事への取り組みなどに協力している。	生徒											171	147	57	8	2	1	81.0	77.0
		教員											3	20	4	0	0	0	74.1	72.9
10	生徒会活動や委員会活動は活発に行われている。	生徒											178	147	50	7	3	1	81.8	79.7
		教員											2	13	11	1	0	0	64.8	65.6

学校関係者(生徒・教員・保護者)評価結果

令和元年12月13日
杉並区立中瀬中学校

項目		A そう思う (100点)	B ややそう 思う(75点)	C どちらでも ない(50点)	D あまり思わ ない(25点)	E 思わない (0点)	無答の人数	R1の 結果 /100 点	H30 の結 果 /100 点											
		0	10	20	30	40				50	60	70	80	90	100%					
回答数:生徒348、保護者317																				
11	部活動はさかんで、積極的に参加している生徒が多い。	生徒											222	109	44	6	3	2	85.2	85.5
	教員											11	15	0	1	0	0	83.3	76.0	
12	生徒は学校で、ルールを守って生活している。	生徒											193	144	38	8	2	1	83.6	83.2
		教員											4	16	6	1	0	0	71.3	80.2
		保護者											174	122	44	7	1	1	83.1	83.8
13	先生は、いろいろな問題を見逃さずに対応している。	生徒											104	154	99	22	7	0	71.1	69.0
		教員											3	18	6	0	0	0	72.2	75.0
		保護者											59	148	100	18	7	17	67.6	67.0
14	学校での生活を通して、体力や食、生活習慣をはじめ健康な生活を送る力が育まれている。	生徒											111	152	88	25	8	2	71.7	67.0
		教員											6	11	9	1	0	0	70.4	70.8
		保護者											137	149	51	10	1	1	79.5	77.2
15	道徳の時間で、友達や家族、地域の人たち共によりよく生きることの大切さについて、みんなで話し合っている。(保護者:学校での生活を通して他者と共によりよく生きるための力が育まれている。)	生徒											151	154	58	15	8	0	77.5	69.8
		教員											5	16	6	0	0	0	74.1	72.8
		保護者											131	164	41	8	1	4	80.1	79.2
16	生徒が、お互いに分かり合い協力し合い、安心安全な生活を送ることができる、学級・学年づくりが行われている。	生徒											176	139	53	11	5	2	80.6	75.2
		教員											3	14	10	0	0	0	68.5	71.9
		保護者											86	142	81	15	7	18	71.5	69.5
17	学校は、いじめや不登校などの課題解決に向け、協力し迅速に取り組んでいる。	教員											8	14	5	0	0	0	77.8	76.0
		保護者											57	110	122	11	10	39	65.6	62.1
18	先生は、生徒からの相談に、積極的に応じてくれている。	生徒											136	135	89	14	8	4	74.7	73.2
		教員											10	13	4	0	0	0	80.6	83.3
		保護者											74	118	100	16	4	37	69.4	67.1
19	友達や先生、家族のことで悩んだとき、相談できる先生やスクールカウンセラーがいる。(学校は、生徒が人間関係や心の問題で悩んだとき、その解決を支援してくれる。…保護者)	生徒											155	122	67	24	16	2	74.5	75.2
		教員											1	9	15	1	1	0	57.4	59.4
		保護者											60	106	114	19	8	42	65.6	65.5

学校関係者(生徒・教員・保護者)評価結果

令和元年12月13日
杉並区立中瀬中学校

項目		A そう思う (100点)	B ややそう 思う(75点)	C どちらでも ない(50点)	D あまり思わ ない(25点)	E 思わない (0点)	無答 から ない 人数	R1の 結果 /100 点	H30 の結 果/ 100 点							
		0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100%														
回答数: 生徒348、保護者317																
20	学校では将来や進路について考える機会が多く、進路選択の参考になっている。	生徒							105	110	102	44	15	10	66.4	66.2
	教員							3	15	5	3	1	0	64.8	60.9	
	保護者							51	117	122	31	7	21	63.3	63.7	
21	学校は、家庭や地域と連携・協力しながら、授業や学校行事をよりよくしている。	生徒							136	146	79	14	8	3	75.3	72.5
	教員							10	12	4	1	0	0	78.7	87.5	
	保護者							96	142	79	13	5	14	73.2	73.8	
22	学校は、心配されることがあった場合、家庭との連絡を密におこなっている。	教員							9	14	4	0	0	0	79.6	83.3
	保護者							80	113	100	19	8	29	68.6	68.6	
23	学校は、保護者からの相談に積極的に応じている。	教員							15	8	4	0	0	0	85.2	85.4
	保護者							85	113	94	15	7	35	70.2	68.4	
24	学校は、教育活動に関する評価結果と改善策等の情報を提供している。(教員:学校運営協議会等で協議している。)	教員							2	13	9	0	0	3	67.7	67.9
	保護者							101	136	71	11	6	24	74.2	71.9	
25	授業では、一斉学習、子どもたち主体の個別学習と協働学習を組み合わせている。	教員							7	13	6	0	1	0	73.1	70.7
26	カリキュラム・マネジメントの視点に立って、教科間のつながりを踏まえた教育活動に取り組むとともに、計画的な評価・改善を行っている。	教員							2	6	13	2	0	4	58.7	56.5
27	生徒や保護者から障害等への合理的配慮が求められた場合、校内委員会で検討し、実施に努めている。	教員							16	5	4	0	0	2	87.0	84.4
28	特別な支援が必要な児童・生徒に対して、校内委員会で検討し、個別の教育支援計画を作成している。	教員							13	10	2	0	0	2	86.0	89.6
29	特別な支援が必要な児童・生徒に対して、個別の教育支援計画に基づく個別指導計画を作成・実施している。	教員							11	10	2	0	0	4	84.8	83.7
30	各教科等において、義務教育9年間を通した一貫性のある学習指導計画が作成されている。	教員							3	11	10	0	2	1	62.5	57.6
31	連携する小・中学校の教員が協力し合って各教科等の学習指導に取り組んでいる。	教員							3	6	10	2	2	4	56.5	57.6
32	連携する小・中学校で、教員による協働授業、児童・生徒の交流など地域活動への参加等が進められている。	保護者							78	115	84	23	4	45	69.7	68.6
33	学校は、学校で行われている活動を家庭や地域に伝える努力をしている。	保護者							133	135	56	12	2	11	78.5	77.1
34	学校は、子どもたちの発達に関する課題など、障害理解を深める情報を提供している。	保護者							68	97	101	17	11	55	66.5	63.1

細かい分析は、後日に回し、昨年度と比べ、生徒の肯定率(A「そう思う」とB「ややそう思う」の割合)が大きく変化した項目を紹介します。

生徒の肯定率が、明らかに上がった項目

【1】「学校生活に満足している。」	生徒肯定率	82% → 85%	Aは	46% → 55%	いずれも	H30. → R1
【2】「熱心に授業に取り組んでいる。」	生徒肯定率	70% → 79%	Aは	22% → 31%		
【3】「授業で、分かることやできることが増え…」	生徒肯定率	84% → 87%	Aは	41% → 53%…	【4~6】の授業関連は同傾向	
【14】「…健康な生活を送る力…」	生徒肯定率	62% → 69%	Aは	22% → 29%		
【15】「…道徳の時間で…」	生徒肯定率	64% → 79%	Aは	24% → 39%		
【16】「…安心安全な学級学年づくり…」	生徒肯定率	74% → 82%	Aは	37% → 46%		

生徒の肯定率が、明らかに下がった項目

【6】「…電子黒板やデジタル教科書…」	生徒肯定率	94% → 89%	Aは	64% → 58%		
---------------------	-------	-----------	----	-----------	--	--